

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 環境-20 環境保全事業 <input type="checkbox"/> 支援部門						
主管課	環境保全課	関連課	下水道河川課、消防等				
分野名	生活環境						
目標 (目標値)	環境基準の達成に努める。公害事案の早期解決。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
事業の対価							
運営資源状況	決算値(千円)	7,621	8,860	6,524			
	(国・県)	349	429	377			
	(負担金等)						
	(一般財源)	7,272	8,431	6,147			
	人員配置数	3.0人	3.0人	3.0人			
	人件費(千円)	22,826	23,790	25,508			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	30,447	32,650	32,032			
	市民1人当りの経費(円)	171	184	181			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
公害苦情処理率	×	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
		実績値	52.5%	70.0%	72.4%	59.1%	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
環境保全事業	7,621	公害等対策事業	8,733	今後の方向性	B	理由・手法	申立人の声を聴き、法令に沿って苦情処理を引き続き行っていく。今後の苦情状況によりパトロール体制の見直しを行う。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	騒音や悪臭等の感じ方には、個人差があり早期の解決が難しい場合がある。また、河川の白濁など(水質事故)の通報を受けて、被害防止等の対応を緊急出動して行っているが、発生源の特定が難しく、特定しても事業者等の河川を汚したとの認識が低く対応に苦慮している。深夜花火防止対策については、深夜花火防止パトロールにおける協力員の高齢化や迷惑防止条例の施行に伴い、警察署を主体とした体制を整える必要がある。						
課題解決のための取組	通報・苦情等があれば、緊急出動などできる限り現場対応を行い状況を把握したうえで、発生源に対して適切に対応をするように指導を行った。深夜花火パトロールについては、地元住民と対応策についての協議を行い、関係機関との体制の充実を図った。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題	騒音や悪臭等の感じ方には、個人差があり早期の解決が難しい場合がある。また、水質事故については、迅速な対応に努めているが、発生源の特定に至らない場合が多い。深夜花火業務は特別対策区域の地元自治会・町内会の協力員の高齢化により連携が困難になりつつある。						
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	通報・苦情通報に対しては、神奈川県等と連携し早期の対応を心掛ける。深夜花火パトロールについては、協力員の高齢化を鑑み、次世代の協力員による体制の構築、パトロールの縮小及び警察主体の体制を整える必要があると考える。					➡	B ※○事業完了

評価者名

環境保全課長

上田保明

